

# 学 生 議 会

## 参加者及び質問通告内容一覧

令和4年8月25日

### 【発言の順番】

- |     |          |                            |                                |                                 |
|-----|----------|----------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 1番  | 吉良中学校    | <small>しもじょう</small><br>下城 | <small>かほ</small><br>華保さん      | 「より魅力的な西尾市にするために」               |
| 2番  | 東部中学校    | <small>いそがい</small><br>磯谷  | <small>そうすけ</small><br>壮佑さん    | 「笑顔溢れる西尾市へ<br>～ワクワク給食プロジェクト～」   |
| 3番  | 佐久島おさい学校 | <small>いしかわ</small><br>石川  | <small>かふう</small><br>果楓さん     | 「地域の未来を守るために」                   |
| 4番  | 平坂中学校    | <small>はやし</small><br>林    | ひよりさん                          | 「場所の有効活用とリメイク」                  |
| 5番  | 一色中学校    | <small>おだ</small><br>織田    | <small>しゅんたろう</small><br>俊太郎さん | 「安心安全で未来につながる一色町」               |
| 6番  | 福地中学校    | <small>いしかわ</small><br>石川  | <small>さき</small><br>紗希さん      | 「地域と学校のつながりづくり」                 |
| 7番  | 寺津中学校    | <small>すずき</small><br>鈴木   | <small>さら</small><br>彩楽さん      | 「寺津を第2の小京都に」                    |
| 8番  | 幡豆中学校    | <small>たなか</small><br>田中   | <small>まし</small><br>希梓さん      | 「安全で快適に過ごせる街」                   |
| 9番  | 鶴城中学校    | <small>やまもと</small><br>山本  | <small>あい</small><br>愛さん       | 「子育て支援について」                     |
| 10番 | 西尾中学校    | <small>にのみ</small><br>新家   | <small>せいち</small><br>誠一さん     | 「僕たちの「西尾の抹茶」をより身近なもの<br>にするために」 |

学生議会 質問通告書

【中学校名：吉良中学校】

氏 名	しもじょう かほ 下 城 華 保	学年等	3 年 4 組
-----	---------------------	-----	---------

テーマ	より魅力的な西尾市にするために
現状や課題 意見・提案事項	<p>愛知県には特色があり、知名度の高い市が多くあります。例えば、岡崎市は有名な城があり、戦国武将隊を使って市をPRしています。しかし、西尾市は、近隣の市と比べ、まだまだ知名度が低いように感じます。</p> <p>その原因として、西尾市民が西尾市の取り組みをあまり知らないという実態があると思います。私も、今回調べてみて、「佐久島移住サポート」などの取り組みを初めて知りました。自分の住む市のことや、そこで行われる取り組みを知ることで、西尾市民の西尾市に対する思いが変わり、もっと愛着と誇りがもてる故郷になると思います。また、その思いが市の活性化につながるのではないのでしょうか。市の取り組みを西尾市民にもっとアピールしていったらどうでしょうか。</p> <p>もう一つの原因として、うなぎや抹茶以外にもまだまだたくさんある西尾市の歴史や特産品を生かすことがあまりできていないように感じます。私の生まれた吉良町には塩田があり、「饗庭塩」が特産品です。白浜地区には「西尾市塩田体験館 饗庭塩の里」があり、塩作りの体験ができます。また、塩作りの歴史も学ぶことができます。自分で作った塩を使ってスイーツを作り、それをSNSで発信したり、大手企業とタイアップして饗庭塩を使った商品を開発し、全国にPRしたりするのはどうでしょうか。西尾市の魅力ある場所・ものを生かして、より魅力的な西尾市を目指して欲しいと思います。そこで質問します。</p>
質 問	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 「広報にしお」による周知以外に、西尾市の取り組みを多くの市民に知ってもらうために行っていることや、工夫していることはありますか。また、今後行う予定はありますか。</li><li>2. 西尾市の特産品を活用する取り組みを過去に行ったことはありますか。また、今後行う予定はありますか。</li></ol>

## 学生議会 質問通告書

【中学校名：東部中学校】

氏 名	いそがい 磯谷 そうすけ 壮佑	学年等	3 年 B 組
-----	--------------------	-----	---------

テーマ	笑顔溢れる西尾市へ ～ワクワク給食プロジェクト～
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>「みなさんの好きな給食や、思い出の給食は何ですか？」</p> <p>中学卒業の年になり、給食を食べることができるのも、今年が最後だと思うと、急に寂しく感じました。毎月配付される献立表には、愛知県産の食材を使ったメニューや、西尾市ならではの抹茶を使ったメニューなど、ワクワクするものが多いです。僕は特に抹茶トーストが好きですが、旧幡豆郡に住んでいる友達は、抹茶トーストを知りませんでした。同じ西尾市でも、思い出の給食に、知らないメニューがあるのは、少し残念に思いました。</p> <p>西尾市のホームページで観光について調べていると、「ワクワク給食プロジェクト」という取り組みが紹介されていました。「ワクワク給食プロジェクト」とは、学校以外の場所でも西尾市の給食を食べることができる機会を提供する事業です。現在、市内の飲食店がこのプロジェクトに参加し、人気給食メニューを提供していることがわかりました。参加店舗には、「のぼり旗」が目印に掲げられているそうなので、見かけたら、ぜひ寄ってみたいと思いました。</p> <p>どんなメニューを食べることができるか調べてみると、いかフライのレモン煮が18店舗、ソフト麺が1店舗、抹茶トーストが2店舗、ちくわの2色揚げが1店舗で提供されていました。</p> <p>「いかフライのレモン煮」は、2021年9月12日に、「県民大調査！愛知あたり前でSHOW」という番組の一部の時間で取り上げられたこともあります。</p> <p>しかし、人気の給食メニューは他にもあります。友達や家族、栄養教諭に、西尾市で人気の給食メニューを質問したら、「わかめごはん」「きなこ揚げパン」「アーモンドトースト」「スイート風春巻き」「抹茶ドーナツ」「抹茶豆腐ケーキ」なども上位にあがりました。</p> <p>また、給食の話をしたら懐かしがっていた祖父母も、抹茶トーストを知らなかった西尾市の友達も、この「ワクワク給食プロジェクト」を知らませんでした。</p>

	<p>西尾市在住の方だけでなく、観光客にも、この「ワクワク給食プロジェクト」をもっと知っていただき、西尾市の抹茶を使ったメニューや懐かしい給食の味を楽しんでもらいたいと思いました。また、西尾の産物を使って作った給食を味わってもらうことは、地産地消を促進し、食料自給率の向上にもつながります。</p> <p>そこで、インターネットに不慣れな方のためにも、このプロジェクトについてのポスターを作成し、多くの人目に入る、駅やショッピングセンター、くるりんバスなどに掲示したり、広報にしておに上げたりしてはどうでしょうか。</p> <p>西尾市ならではの給食メニューを、もっと多くの人に楽しんでもらい、さらに笑顔溢れる西尾市の実現に向けても、西尾市観光の一つとしても、この取り組みを盛り上げ、「ワクワク給食プロジェクト」に関する情報を広く発信してほしいと思いました。</p> <p>そこで質問します。</p>
<p>質 問</p>	<p>1 今までに、西尾市在住の方を対象に、思い出の給食アンケートをしたり、「ワクワク給食プロジェクト」について、ホームページ以外で情報発信をしたりしたことはありますか。</p> <p>2 誰でも、人気の給食メニューを気軽に楽しむことができるように、僕たちに身近なショッピングセンターやスーパーマーケット、コンビニなどでの実施は考えていますか。</p> <p>また、これからどのようにこのプロジェクトを進めていく計画がありますか。</p>

## 学生議会 質問通告書

【中学校名：佐久島しおさい学校】

氏 名	いしかわ かふう 石川 果楓	学年等	2年1組
-----	-------------------	-----	------

テーマ	地域の未来を守るために
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>今、私たちの住むこの西尾市にも「南海トラフ地震」の危険が迫っています。西尾市の被害想定は震度7といわれ、かなり大きな地震が来ることになっています。</p> <p>今年の4月、休み時間に教室で友達と話をしていた時に「緊急地震速報が出たから机の下にもぐって！」と担任の先生が叫びながら階段を駆け上がってきました。私たちはすぐに教室の机の下にもぐり、そのあと指示に従って運動場に避難しました。抜き打ちかと疑うほど現実味がなかったのですが、後から聞くと自宅のある一色の方ではかなり揺れたそうです。幸い佐久島は地盤が固く、液状化にもなりにくい土地なので、何事もなくその時は笑って済ませられましたが、その時の自分は地震に対する危機感が軽薄だったように思います。もし、揺れが収まったあとに津波が襲ってきたら、私たちの命はなくなっていたかもしれせん。それからの私は、「もっと自分事として地震災害について考えていかなくてはいけない」と反省し、その第一歩として、「減災」に対する町の取り組みや震災時の「自助、共助、公助」について考えてみました。</p> <p>私は、自分が通う佐久島しおさい学校に来ているときに大地震が起きた時のことを考えてみました。学校では毎年、津波に備えて裏山に避難する訓練を行っています。避難経路を確保するために、先生たちが事前に生い茂った草を刈ったり、竹の枝を払ったりします。そうしてできた山道を、私たちは長靴をはき、ライフジャケットを着て、小さい子たちに気を配りながら登っていきます。避難地点まで来る頃にはみんなへとへとです。4月末に訓練をしたとき、これが本当の避難だったら、私たちは本当に助かるのかと不安になりました。佐久島は高齢者の多い島でもあります。整備されていない山道を登っていくことは難しいでしょう。それに、佐久島にはたくさん観光客も来ます。私たちの学校は津波避難のハザードマップで2次開設所となっています。海拔7m ある学校は島のちょうど真ん中にあることから、多くの人たちが学校に殺到することが予想され</p>

	<p>ます。</p> <p>次に、私が住む一色町は、海に近いこともあり海拔が0.5m未満のところが多いです。一色中学校が3.2mで、私の住む生田地区も0.5m未満のところほとんどです。そういった理由から、今年の3月に、私の家の裏に「生田きぼうのタワー」という津波避難タワーが完成しました。これは、高齢者など、自力での避難が難しい人たちの一時待機所として作られたものだそうです。しかし、介助が必要な高齢者の人たちは、自力でタワーの階段を上ることができないのではないのでしょうか。そうした人を運ぶために、担架が用意されていると聞きましたが、サポートする人がいなくては使えません。こんな時こそ町内の人達がお互いに助け合う「共助」が大切だと思います。また、全員が避難タワーに避難できないとしたら、それが可能となる数のタワーをさらに増築することが「公助」ではないかと思えます。その点についてご答弁いただきたいと思えます。</p> <p>そこで、質問します。</p>
<p style="text-align: center;">質 問</p>	<p>1 佐久島の安全対策について、避難生活用の備蓄はある程度用意されていると聞いていますが、津波への対策として、どのような準備がされているのでしょうか。安全な避難経路や場所の確保と合わせて教えてください。</p> <p><b>【再質問】</b></p> <p>最大想定がどのように決められているのか、また、最大想定以上の津波がきた場合、西尾市では、どのような対策をとられるのか、お考えをお聞かせください。</p> <p>2 避難タワーについて、全員が避難タワーに避難できないとしたら、それが可能となる数のタワーを今の計画以上にさらに増築することが「公助」ではないかと思えます。その点について、どう考えられていますか。</p>

## 学生議会 質問通告書

【中学校名：平坂中学校】

氏 名	はやし 林 ひより	学年等	3年6組
-----	--------------	-----	------

テーマ	場所の有効活用とリメイク
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>私は、この西尾市にあるヴェルサウォークによく行きますが、「多くの人を訪れて、楽しめる場所が西尾市には少ない」ということを感じています。西尾駅付近の本町や下町には、たくさんの店がそろっていて、車通りも多く、一番栄えている場所だと思います。しかし、多くの人を惹きつけるような魅力あるスポットや若い人からお年寄りまで集まって楽しめるような施設が充実しているとはまだまだ思えません。</p> <p>また、町中から少し足を延ばせば、私が住んでいる平坂地区にある古いパチンコ屋のように、今では使っていない建物がそのままの状態にしてあったり、活用されていない広い空き地があったりと「もったいない」と感じてしまう場所がたくさんあると思います。</p> <p>私は、そんな場所を有効活用すべきだと思います。例えば、そのような場所を映画館にしたり、小さい子どもからお年寄り、若者やカップルでも気軽に遊びに来ることができ、楽しめる総合公園のような施設に作り変えたりすることです。また、三河線の跡地や高架を活用し、名古屋にあるガイドウェイバスのように蒲郡方面へとつなぐ専用バスルートをつくれれば、新たな観光スポットになるだけでなく、東三河の人たちも西尾へ足を運ぶきっかけになるのではないかと思います。</p> <p>一方で、私はすべてを作り変えてはいけないと思います。昔ながらの西尾の風景や城下町としての歴史ある風景を壊さないことも大切です。このバランスが取れてこそ西尾市の魅力は増していくと私は思います。</p> <p>今の西尾市にどんな建物があって、どんなところがよいのか見直し、「新しい」西尾市と「変わらない」西尾市をつくるべきだと思います。特に西尾駅周辺の開発は、将来を見据えた取り組みが必要だと思います。西尾の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくりをするため、以下の2つの質問をします。</p>

質 問	<p>1 西尾駅周辺の住民を対象として、必要な施設や生活環境について、アンケートで聞いたことはありますか。</p> <p>2 ワクワクする西尾市になっていくために、西尾駅周辺で今後、どのような土地利用を計画していますか。</p> <p>【再質問】</p> <p>歴史的なまち並みを保存するために作成している計画はありますか。また、その内容はどのようなものですか。</p>
-----	---

## 学生議会 質問通告書

【中学校名：一色中学校】

氏 名	おだ しゅんたろう 織田 俊太郎	学年等	3年5組
-----	---------------------	-----	------

テーマ	安心安全で未来につながる一色町
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>僕は、この学生議会に向けて、学年で問題点を話し合い、みんなの意見をまとめてここに来ました。西尾市、特に一色町で、課題と思っていることは、3つあります。</p> <p>1つ目は、町の環境についてです。一色町は、防犯灯が少なく、塾の帰りなどに通るとき非常に暗く、怖いと感じる一中生が多くいます。田んぼや畑があるところだけではなく、住宅街でも非常に少ないです。暗い町並みでは、不審者がとても怖いです。また、道路は、ひびがあり、でこぼこしている場所が多く危険を感じます。一色中学校の生徒は、凹凸によってハンドルが切れず、タイヤをとられて転倒してケガをすることが少なくありません。車道の凹凸に水がたまって水しぶきが飛んできたりするときもあります。大きな事故につながりかねません。</p> <p>2つ目は、人が集まることができる場所です。小さい子から高校生や大人まで一色町内で集まれる場所は現在主に一色学びの館だけです。そのため、ほとんどの人がそこに集中してしまい、落ち着いて学習できないことが問題になっています。また、学びの館に隣接する広場では、人が多く集まってしまうためかボール遊びも禁止になってしまい、町内にはボールを使って遊べる公園などもほとんどなく困っているという意見もありました。学びの館の位置は、東部小校区や西部小校区からは遠く、仲間と集まる屋外の場所が非常に少ないです。もっと至る所に目的にあった集まれる場所がほしいです。</p> <p>3つ目は、雇用問題です。僕たちが大人になって一色町で働ける場所があるように感じられないのです。いざ就職しようとなったときに本当に働けるような場所が少ない気がします。うなぎを含めた飲食関係以外に雇用がある企業が本当に少ないように感じます。もっと一色に企業を誘致すれば活気のある街になるだろうし、地元にとどまって生活していこうと考える生徒が増えると感じます。地元</p>

	<p>に就職口がないということは、きっと一色町から若者が離れてしまい、さらにまちが衰退する可能性があります。そこで質問です。</p>
<p>質 問</p>	<p>1 防犯灯の設置や道路の整備はどのような手続きをすれば改善されますか。</p> <p>2 一色町内にボールを使った遊びなど、子ども達がのびのび遊べて、子育て世代が使いやすい公園をつくる計画はありますか。</p> <p>3 市の方針として、一色町の雇用問題の対策は具体的にどのように考えていますか。</p> <p><b>【再質問】</b> 一色町への企業進出をどのように考えていますか。</p>

学生議会 質問通告書

【中学校名：福地中学校】

氏名	いしかわ さき 石川 紗希	学年等	3年1組
----	------------------	-----	------

テーマ	地域と学校のつながりづくり
現状や課題 意見・提案事項	<p>私は、生徒会長として成し遂げたい公約があります。それは、タブレット端末を活用して、私たち生徒のがんばる様子を紹介したり、全校生徒が笑顔になる動画を発信したりする取り組みです。昨年度から学校現場にタブレット端末が導入されたことで、授業だけでなく、生徒会活動も新しい発想で取り組まなければいけないと思っています。</p> <p>一方、地域の情報を知る時に、効果的なものだと感じるのは「広報にしお」や「回覧板」です。私の家族は「広報にしお」や「回覧板」の地域情報をよく読みます。自分の好みの内容だけでなく、それまで興味・関心のなかったことも掲載されており、自然に情報を得ることができるよさを感じています。</p> <p>私たち、市民が必要な情報を自主的に集めることは大切ですが、生活に必要な情報や、潤いをもたらす情報、災害等の生命を守るための情報などは、市から市民へと確実に伝わるのが大切だと思います。西尾市に住んでいるどの世代、どの立場の方にも確実に情報が行き渡り、自然に読まれる「広報にしお」の発行や「回覧板」というシステムは、今の時代だからこそ、大切にしたい素敵な取り組みだと思います。</p> <p>しかし、その回覧板や広報誌の取組が、年々縮小傾向にあることを社会科の授業で聞きました。「西尾市はどうなのだろう」と思い調べたところ、「広報にしお」の発刊は、令和2年度より、それまでの月2回発行から、1回に縮小されていました。市のホームページには「広報にしお」のデジタル版が掲載されていますが、直接自宅に届き、自然に読むことができるメリットは大きいと感じます。</p> <p>私は、このことを調べていくうちに、広報誌や回覧板の取り組みは、地域住民のつながりを保障する役割を担っていると考えるようになりました。広報誌や回覧板が確実に行き渡ることは、そこに生活する人がいる証拠です。それが確認できることも価値の一つだと思います。</p>

	<p>また、多くの人に自然に読んでもらえる方法としても素晴らしいと思います。私たち生徒会も生徒会活動をより多くの人に知ってもらおうと思い、「回覧板に加えて、『広報にしお』に生徒会活動を掲載することは可能か」と、市役所の方に尋ねてみました。しかし、「他校からも要望がありますが、掲載は難しい」という回答でした。さらに、「掲載できる情報量が限られている」という説明もいただきました。</p> <p>私は、「広報にしお」の発行を2回に戻すことができたらいいなと思います。例え1回あたりの内容は減っても、2回に増やせば内容は増えると思います。そして、タイムリーな話題を市民に提供することができます。そして、「広報にしお」に学校の情報を掲載することができれば、地域と学校はもっと強く結び付くと思います。地域と学校が「地域の幸せ」を目標に、コミュニティデザインをする。そのために、今以上に地域とつながっていくことが、これから必要だと思います。「コミュニティデザイン」という言葉は小学校6年生の国語で学びましたが、「地域の幸せ」のために外せないキーワードだと思います。</p> <p>「広報にしお」の発行回数が減ってしまった理由として、町内会長の方々の大きな負担があることがわかりました。西尾市の町内会の数は401あるそうです。月2回の発行により、回覧板での配付等が負担だという声が多かったことを推測しました。</p> <p>だからこそ、今、考えているのは、私たち中学生がお知らせを直接各家庭のポストに入れる取り組みです。現在、私たちは大規模な資源回収の際に「回覧板」を用いて情報を発信しています。しかし、「回覧板」の情報だけだと、どうしても見落とされたり、印象に残らなかったりする課題があります。そこで、自作の案内チラシを直接各家庭のポストに入れたいと考えています。私たちの先輩が、数年前まで地域の家を一軒一軒訪問して資源を回収していた経験を活用したいです。今まで培ってきた経験をもとに、発想を転換することで、町内会長さんの負担を軽減しながら、市民との情報を行き渡らせる方法が見つかるのではないのでしょうか。</p>
<p>質 問</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 今後、市として、町内会の負担を軽減するような取り組みは、何か考えていますか。</li> <li>2 西尾市は、「地域と学校のつながりづくり」について、どのような姿を最終目標にしているのでしょうか。</li> </ol>

## 学生議会 質問通告書

【中学校名：寺津中学校】

氏 名	すずき さいら 鈴木 彩楽	学年等	3年1組
-----	------------------	-----	------

テーマ	寺津を第2の小京都に
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>私が通っている寺津中学校の周辺には、自然と歴史が作り上げた素晴らしい文化が広がっています。そのいくつかを紹介したいと思います。まず、最初に枯木宮貝塚を紹介します。寺津中学校は、枯木宮貝塚の上に建っていて、体育館の周辺や運動場の隅には、今でも白い貝殻が出てきます。また、発掘調査の結果、職員室、校長室の地下からは人骨が多く出土されたという話もあります。今でも、寺津中学校周辺に家を建てる時には、発掘調査が行われるなど、縄文時代を知るうえで、とても重要な史跡があります。また、寺津中学校の校章も地域の歴史と深くかかわっています。寺津中学校の校章には臥した蝶がデザインされており、これは戦国時代に寺津城を築城した大河内氏の家紋である丸に揚羽蝶からデザインされたものです。寺津中学校のほかにも、保育園は青虫、小学校は蝶のさなぎといったように、大河内氏とのつながりも深いです。大河内氏とつながりが深い建物としては寺津八幡社があります。平安末期から鎌倉時代にかけて、寺津大河内氏の祖である顕綱が建てたと伝えられています。社殿を改築したときに徳川家康と一緒にまつられ、その後、徳川家光からも朱印状を受けたなど、由緒正しい神社です。他にも金剛院、常福寺の大仏、常楽院閻魔堂、浄妙寺など、有名な史跡や、寺津街道には門前町として、たくさんのおいしい食べ物を売っているお店もあります。</p> <p>そこで提案があります。寺津を第2の小京都として売り込んでみてはどうでしょうか。そのために、小中学校で観光地めぐりのマップを作ったり、史跡めぐりのためのバスを増設してみたりしてはどうでしょうか。町の魅力を伝えるマップや、その場所をめぐることができるバスが増設されれば、自然と観光客も増えてくると思います。そうすれば、地元の商店街も潤うし、生活している人たちも、バスを利用する機会</p>

	も増え、外に出やすくなると思います。
質 問	<p>1 寺津は、歴史文化の価値と魅力が詰まった地域です。今後、観光地として売り出す考えはありますか。</p> <p>2 観光地として売り出すためには、市内外の人にこの地域に来てほしいと思います。そのためには、公共交通機関の充実が必要だと思います。西尾市には、市民の足となる六万石くるりんバスがありますが、寺津の史跡など巡るため、ルートを見直したり、バスの本数を増やすことはできないでしょうか。</p>

## 学生議会 質問通告書

【中学校名：幡豆中学校】

氏 名	たなか きし 田中 希梓	学年等	3年2組
-----	-----------------	-----	------

テーマ	安全で快適に過ごせる街
<p style="text-align: center;">現状や課題</p> <p style="text-align: center;">意見・提案事項</p>	<p>私は、自分が住んでいる幡豆地区は、安全で誰もが快適に過ごせる場所だと思っていました。しかし、よく考えて周りを見てみると、いくつか問題点を見つけました。</p> <p>私たちの中学校では、ほとんどの生徒が自転車で通学しています。通学路の大通りは一本道で、ほとんどの生徒が同じ道で通学しますが、その途中にはいくつもの坂があり、毎年自転車の事故が絶えません。特に、通学路内に竹や木が高く伸びている場所があり、その落ち葉で自転車がすべって転倒することが多いです。小学生も通学しているため、通学路がきれいになったり、広くなったりしてほしいと思います。さらに、自転車専用レーンがあると、事故が無くなると思います。いかがでしょうか。</p> <p>次に、防災についてです。最近、県外では、地震が頻繁に起こっています。また、県内では南海トラフ地震が近いうちに起こるといわれています。私は中学校の総合的な学習の時間で防災について学びました。そして、この機会に家庭内で日頃から備えておくものは何か見直すことができました。しかし、家庭内だけ見直しても、避難場所に避難した後どうなるのかわかりません。思っている以上に不安が募り、パニックになるかもしれません。私は、津波が来たときに防ぐ防潮堤を見たことがあります。しかし、三ヶ根山などの山や崖もあるため、土砂崩れが発生する可能性もあります。幡豆地区には、木の生えていない崖になっている箇所があります。土砂災害を防ぐために、崖に網をかけておく、木を植えて土砂を防ぐなどの対策も必要だと思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自転車に関わる交通事故に対して、どのような対策や呼びかけをされているか教えてください。また、今後、通学路の整備や歩道の増幅などの予定はありませんか。</li> <li>2 大地震に伴って津波が発生し避難場所に避難した際、避難所ではどのような対応を計画しているのか教えてください。また、土砂災害を防ぐために、どのような対策をしていますか。</li> </ol>

## 学生議会 質問通告書

【中学校名：鶴城中学校】

氏 名	やまもと あい 山本 愛	学年等	3年5組
-----	-----------------	-----	------

テーマ	子育て支援について
現状や課題 意見・提案事項	<p>将来、私たちは子供を産み、育てる立場になります。その時、子供を産みたいと思える環境、子供を安心して育てられる環境が今よりもっと充実してほしいと思います。</p> <p>昔に比べて給料が上がらない一方、進学率は上がり、今出産してから20歳までにかかる教育費と養育費は2000万円～4000万円必要と言われていています。経済的負担が少子化に与える影響はとても大きいと思います。それだけの負担を払える自信がなければ、子供は持てないと感じたり、子供は一人で十分かなという心境になったりするのではないのでしょうか。実際、私には5つ年上の兄がいますが、すでに兄の周りでもお金がかかるから結婚したくないという人もいます。ファミリー・サポート・センターの料金の補助のような支援を広く行うなど税金を適切に使うことが大切だと思います。</p> <p>また、働き続けながら子育てをしたいという方の支援では、無償の長時間保育や日曜日でも預けられる場所、病児保育などを充実させることが仕事と子育ての両立を可能にすると思います。そして、子供一人を育てるのにかかる莫大な費用の軽減こそが、子供を持つことへの躊躇を防ぎ、出産後も安心して育児ができる環境を整えることが少子化対策にもつながるのではないのでしょうか。医療費の無償化など経済面での支援と保育の充実に力を入れてほしいと思いました。そこで質問をします。</p>
質 問	<p>1 仕事と子育ての両立を可能にするために具体的にどんな対策を考えていますか。</p> <p>【再質問】 保育所や認定こども園の整備を進めているとのことですが、具体的にはどのような内容ですか。</p> <p>2 西尾市でも、高校生までの医療費の無償化を取り入れてみませんか。また、小中学校の給食の無償化は実施できませんか。</p>

## 学生議会 質問通告書

【中学校名：西尾中学校】

氏 名	<small>にいのみ</small> <small>せいいち</small> 新家 誠一	学年等	3年3組
-----	---	-----	------

テーマ	僕たちの「西尾の抹茶」をより身近なものにするた
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>5月16、17日の二日間、僕たちは勤労体験として「茶摘み」を初めて行いました。茶摘みをするにあたり、自分で西尾の抹茶について調べてみました。すると、「西尾の抹茶」は特許庁の地域ブランドに認定されていることに驚きました。茶の分野で抹茶に限定した地域ブランドとしては、全国で初めてだそうです。その魅力ある抹茶のことをわずかですが知ったことで、茶摘み体験はとても楽しく、二日間があつという間でした。</p> <p>僕は、「抹茶」は西尾市のシンボルだと思っています。そこで、西尾の抹茶を全国にどのようにPRしているのか気になり、西尾茶協同組合の奥谷事務局長に電話をしました。すると、2015年にミラノ国際博覧会で抹茶の紹介をしたり、2019年にシンガポールでプロモーションをしたりと世界でも抹茶を紹介していることを教えていただきました。また、日本では、西尾の抹茶色クレヨンや抹茶を配合して微かに抹茶の匂いのするタオルなどのグッズの販売をしていることも知りました。しかし、全国的に見たときに、抹茶と言えば、「京都の宇治」が生産量、知名度ともに1位だと思いません。西尾市民として、宇治の方が有名であることは悔しいですが、考えてみると、僕自身が西尾の抹茶についてよくわかっていないことに気づきました。僕は、西尾の抹茶についてもっと知り、西尾市民としての誇りを持ちたいと思いました。</p> <p>そこで、僕は次のことを提案します。毎年、2月6日は「抹茶の日」ですので、それにちなんで、2月に西尾の抹茶週間を市に設定していただきます。例えば、一週間、学校給食で抹茶やてん茶を使用した料理を出したり、市内各所で抹茶の無料体験教室や無料販売を行ったりします。</p> <p>これらの取り組みを行うことで、西尾のシンボル「抹茶」に、より多くの地域の人に触れる機会になり、抹茶という地域産業を守りたいという思いが高まると思います。</p>

	<p>『「あいちの茶」振興計画（第8次愛知県茶業振興計画）の概要』を読みました。最近、日本人のお茶離れが進んでいることが課題だと言われています。愛知県としては、学校などでお茶のおいしい淹れ方を伝え、家庭でのせん茶の飲用を促したり、水に溶けやすい抹茶などの商品を考えたりして、お茶を身近なものにしようとする取り組みが行われていることがわかりました。</p> <p>そこで質問します。</p>
<p>質 問</p>	<p>1 西尾市では、抹茶を僕たち市民にとってより身近なものにするために、市としてどのような取り組みを行っているのですか、または行う予定なのですか。お聞かせください。</p>